

連載スタート!! 新しい切り口のコラムに
乞うご期待

暮らしから考える **HOUSING 未来予想**

●青森大学教授・エッセイスト・ジャーナリスト 見城美枝子

くいつときのセレブ

不況で、大企業の働き盛りの男性も巻き込みワークシェアリングが浸透。「消費は美德 使い捨てる時代」から時は過ぎ、格差社会となった今、「シェアリングビジネス」によるレンタルブランドバッグで、いつときのセレブ感を楽しむのが人気だ。無駄遣いをしない、エコ派がセレブの条件になれば、カーシェアリングも脚光を浴びるかもしれない。

SPECIAL REPORT

特集レポート

早分かりQ&A

環境問題と住宅 Vol.1



エンドユーザーへのアンケート調査結果

Q 関心度の高い環境問題関連テーマとは?

A 環境問題については、「地球温暖化」への関心度が最も高く、次いで、「ゴミ処理・エネルギー枯渇問題」、「都市の大気環境問題」の順。高年齢層ほど関心度が高い傾向がみられる。また、光熱費や水道代の節約などに関する行動、手軽に実践できる行動への関心が高い。

Q 日頃から実践している行動とは?

A 「ゴミの減量や分別の徹底」や「節水に努める」、「節電に努める」は、実践しているとの回答が7割以上。環境問題に取り組む理由は「家計の節約」が最多で、「地球規模の環境を守るため」がそれに続く。持家戸建住宅では、「環境意識の向上や子供たちへの環境教育」を理由に挙げる回答率が若干高い。取り組まない理由としては、「手間や時間がかかる・面倒」、「何をしたいかわからない」が多い。持家戸建住宅居住者では「家計圧迫になるため避けたい」などの回答割合が高くなっている。

Q 環境に配慮した住宅の認知度や関心度は?

A 「オール電化」や「太陽熱を集熱して温水等に利用」、「太陽光発電システムにより電力をまかなう」、「断熱性能、気密性能を向上させる」住宅を認知する人は5割超。特に節約につながる機能に関心が高い。今後、環境に配慮した住宅に対して付加価値が高まる可能性があるが、「節約・省エネ」の視点も重要になる。

MARKET WATCHING

変わる街探検隊 **第43回**

開業120周年を迎えた
JR中央線
JR中央線沿線



4月に新宿駅～立川駅間が開業120周年を迎えたJR中央線は、首都圏鉄道の大動脈で、東京駅から八王子駅、山梨県の甲府駅、長野県の塩尻駅、岐阜県南部を經由し名古屋駅までを結ぶ。東京都はJR東日本と協力して鉄道を高架化。18カ所の踏切を立体交差とし(2010年度完成予定)、鉄道と沿線地域の分断解消を目指す。立体交差事業の対象区間の武蔵小金井駅南口では、再開発事業も進行。



武蔵小金井駅

HOT ANGLE 2009

**人口増加率、
移動率は
低調に推移**

2008年における人口関連指標の動き

総務省統計局公表の「2008年10月1日現在推計人口」によると、日本の総人口は3年ぶりに減少し、1億2,769万2,000人。「住民基本台帳移動報告(2008年結果)」によると、都道府県をまたぐ移動者数は250万人で、人口移動率は1%台に低下。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、滋賀県の6都県が転入超過となっている。また、東京圏、名古屋圏及び大阪圏の3大都市圏については、13年連続で転入超過である。

寄稿

関西復権を考える **Vol.11**

**沿線の活性化に期待がかかる
「阪神なんば線」のこれから**

●株式会社 ANALOG 佐野 嘉彦 氏

関西の広域エリアで私鉄同士が初めて相互乗り入れた「阪神なんば線」は、互いの沿線活性化への効果に大きな期待がかかる。その主な内容は、①沿線各地域の観光客の交流②阪神甲子園球場と京セラドーム大阪への動員③ものづくりの街・尼崎市と東大阪市の産業交流④学校の通学圏の拡大である。同時に、大阪市内西部の大型開発プロジェクトの進行にも期待したい。



浮庭橋

DATA FILE

データファイル

2009年4月

首都圏・近畿圏の
マンション
市場動向

首都圏

新規供給戸数	2,621戸	(前年同月比) △8.5%
初月販売率	64.7%	(前年同月比) 1.6%ポイント
平均価格	3,953万円	(前月比) △16.7%
分譲㎡単価 [3.3㎡単価]	604千円 [1,998千円]	(前月比) △7.1%

近畿圏

新規供給戸数	1,904戸	(前年同月比) △52.6%
初月販売率	51.3%	(前年同月比) △11.4%ポイント
平均価格	3,588万円	(前月比) 1.3%
分譲㎡単価 [3.3㎡単価]	484千円 [1,600千円]	(前月比) 3.0%